

[北海道歯科医師会]
郡市区歯会ニュース
2012 11月号

発行所／社団法人北海道歯科医師会

北海道歯科医師会HP
<http://www.doushi.net/index.html>
今月のコラム「自由人」は編集の都合上お休みです。

Hokkaido Dental Association D.NEWS

口の健康に関する図画・ポスターコンクール

第1回PC教室／保険講習会

第27回いわみざわ健康まつり

フッ化物洗口南幌小中学校保護者説明会

口の健康に関する 図画・ポスター コンクール

日時：8月21日(火)19:00から

場所：岩歯事務所

今年度は岩見沢市・三笠市・月形町の6校から220点の応募があった。IT機器で加工された作品も登場して時代の移り変わりを感じ、頭を悩ませたが、工藤泰裕理事をはじめ学校保健部の先生方と三役、並びに教育委員会の方々を交えて、計10点の上位作品を選出した。

(久恒泰宏記)

第27回 いわみざわ 健康まつり

日時：9月30日(日曜日)午前10時～午後4時
場所：岩見沢保健センター

台風17号の接近に伴うあいにくの天候にもかかわらず、子どもからお年寄りまで多くの市民が集まり、動脈硬化度チェック、コンピューターによる総合体力診断、心肺蘇生法講習会、献血推進やアイバンク登録コーナーなど様々なブースに参加していた。本会は歯科健診と口臭測定を担当し、川野先生、白井先生、山田直樹先生、山田貴文先生と衛生士3名が、120名近くの健診と測定にあたっていた。

(久恒泰宏記)

保 険講習会

日時：9月27日(木)19:30～21:00

場所：ホテルサンプラザ

保険点数改定から半年が経過し、清水学
保険担当理事がよく目にする起こりやすい

間違いや疑義解釈、最近の変更点等について、自作のスライドを用いて解説された。歯管の扱いは算定要件が少々難しいが若干緩和されるようだ。また摘要欄への記載はひとつの言葉が持つ意味の重さが痛感された。今回の講習を正しく理解して間違いに注意し、解説を実行していくべき増点につながると感じた。
(久恒泰宏記)



保険講習会



いるが、なにかストレスが加わると病的老化が始まり、死が早まってしまう。口の中でいう病的老化とは、歯の喪失、かみ合わせが失われる、噛む力の低下などが生ずる等が該当するなど、様々な観点からかみ合わせを健全に保つ有効性についての説明がされた。



公開講演会

旭川 ASAHIKAWA

平成24年度健口普及公開講演会

高齢者歯のコンクール表彰式終了後に同会場で開催された。

演題： すぐやか生活は歯の健康から
～噛めるお口を保つために～

講師： 北海道医療大学歯学部高齢者
・有病者歯科学講座 准教授

池田和博先生

<池田先生講演内容>

食べられるお口を保つことが健康に繋がる。
生理的老化とともに活動性が低下して、やがては死にいたるというプロセスがなりたって

第1回 PC教室

日時：9月12日(水)19:30から

場所・参加： 岩歯事務所 14名

Facebookについて詳しく知りたいという要望が多かったため、アカウントの作り方、友達リクエストや検索・承認について、記事の投稿、セキュリティや注意事項等々について解説を行った。「昔の友達を探したい」



「同級生でグループを作りたい」など興味を持っている先生が多いのは確かなようだった。後半はこれに関連して、写真を投稿できるように加工する方法や、おもしろい動画を集めたサイトを紹介するなどして非常に盛り上がり、かなり満足いただけたようだった。
(久恒泰宏記)

平成24年度 高齢者の歯のコンクール

日時：9月8日(土曜)午後2時30分

会場： 大雪クリスタルホール

平成24年度の高齢者の歯のコンクール表彰式が9月8日(土曜)午後2時30分から大雪クリスタルホールで行われた。



今年の応募者は107名、健診を受けた方は95名。91名が8020を達成し北海道歯科医師会から認定書が贈呈されることになった。11月に行われる北海道高齢者歯のコンクールに上位2名を推薦した。

氏名	(残存歯数)	(順位)
正道 健二	(29本)	(2位)
一瀬ひさ子	(28本)	
相川 忠士	(28本)	
松岡ヤスエ	(28本)	(1位)
谷村ツル子	(28本)	
品田 義明	(28本)	
真杉 好夫	(28本)	
光島 幸子	(28本)	

後志 SHIRIBESHI

平成24年度 ボウリング部 9月月例会

日時：平成24年9月11日(火)

午後8時00分～午後10時00分

場所：岩内ファミリー・ボウル

今大会は土方先生監修のもと余市かねしちの「焼肉」と「餃子が賞品の大会となった。トーナメント方式の試合のため、ヨーヨードンで実力を発揮しないと、1回戦敗退となってしまう。2回戦目で爆発するとワイルドカードで決勝戦へ進出できるが確立は低くなる。

3回戦でやっと調子が出て、200upしても次回のハンデキャップは少なくなってしまう。I先生！次回まで記憶にとどめて、優勝してくださいよ！次会は福井先生が幹事となる。

(伊藤 純記)

	①	②	③
優勝 福井	235	227	193
準優勝 土方	177	220	187
1位 岡崎	249	173	178
2位 伊藤	199	148	217
3位 黒田	181	215	213
4位 柏谷	196	162	186
5位 井筒	173	183	249
6位 中川	116	217	226
7位 水野	153	183	209
8位 山田	178	200	193
9位 西崎	202	177	192
B B 長澤	166	207	172
B M 中村	148	166	146

平成24年度第一回後志歯科医師会主催
学術講演会開催

日時：平成24年9月14日(金)

午後7時30分～午後9時30分

場所：余市町「ホテル水明閣」
本年度の第一回目となる標記講演会が開催され、講師に北海道医療大学 歯学部 口腔機能修復再建学系 高度先進補綴学分野 教授 舞田健夫先生を迎えて、『口腔インプラント治療の「いいね！」を考える。』と題し、インプラント治療がもたらす効果(メリット)の再確認と、トラブル症例に遭遇してしまった場合に出来るだけ患者のQOLを下げずに対応しているか、また、トラブルを回避するために術者側が注意すべき点、等を解り易く解説して頂いた。



(中川徹記)

第5回後志デンタルゴルフコンペ開催

日時：平成24年9月15日(土) 7時30分より

場所：ニセコ東急ゴルフコース

上々の天候のもと、メダリストをかけての戦いも佳境を迎え、それぞれが思い思いのティーショットで1番ホールをスタートしていった。

最後まで好天が続くも、好スコアとは行かずホールアウトした。

(岡崎有志記)

	out	in	HC	net
優勝 岡崎 有志	50	48	19	79
準優勝 西崎 公一	44	50	14	80
1位 中村 直喜	57	58	35	80
2位 土方 敬久	45	44	8	81
3位 菊地 亮	51	47	15	83
4位 練合 哲哉	44	46	7	83
5位 原 公一	50	49	15	84
6位 佐藤智賀志	50	50	12	88
B B 長澤 稔	53	57	21	89
M B 柏谷 良雄	58	63	29	92



健康まつり

市民の健康増進を目的とした健康まつりが、各地で思考を凝らし開催され、三地区合計623名の市民が来場し、歯科相談には三地区合計374名の方が訪れた。

また、各地区にて「8020高齢者の歯のコンクール」及び「入れ歯でハッピー笑顔大賞」の表彰式が行われた。

千歳地区

千歳市健康まつり

日時：平成24年9月8日(土) 10時より

場所：千歳市文化センターにて

内容：歯科相談、ブラッシング指導、

フッ素洗口



恵庭地区

第26回えにわスポーツフェスティバル&

健康まつり

日時：平成24年9月23日(日)午前8時30分より
場所：恵庭市総合体育館にて

内容：歯科相談、R Dテスト、

人工プラーカーを用いた歯牙模型の
ブラッシング体験



北広島地区

元気フェスティバル in 北広島 2012

日時：平成24年9月2日(日)

場所：北広島総合体育館にて

内容：口臭検査、フッ化物洗口、歯科相談

(高津良二記)



空知 SORACHI

家族親睦旅行

日時：9月8日(土)～9日(日)

場所：定山渓ビューホテル

11家族31名が参加し、厚生委員会が企画した家族親睦旅行が開催された。



障がい者歯科関連講演会

日時：10月6日(土)15:50～

場所：ホテル三浦華園

演題：開業医での障がい者歯科(入門編)

講師：北海道大学大学院 歯学研究科

口腔機能学教室 教授

八若保孝先生

会員25名、コ・

デンタルスタッフ

10名の例年に

ない多数の会員

の出席で行われ

た。人手不足や

治療の難しさ等

から、なかなか

歩踏み出せない開業医が多い中、治療の

第一歩や対応の様々な方法について、わかりやすく丁寧に話して頂いた。活発な質疑応答も行われ充実した2時間半であった。

今後、空知の障がい者歯科医療協力医が増するものと思われる。

(北島雅夫記)



日高 HIDAKA

社保伝達講習会

日時：平成24年9月29日(土)午後1時より

場所：新ひだか町「女性センターみらい」

標記講習会が行われた。西川一雄会長の挨拶より始まり、谷本亮理事より講師である龍方省二道歯理事の略歴が紹介された後、2時間ほど、個別指導について、指導計画の変更点について、突合・縦覧・日別情報について、疑義解釈についてなど、資料を用いて詳しく話された。会員からの質問もあり、活発な質疑応答の後、最後に河合祥司副会長の閉会の言葉をもって、午後3時に終了となった。

(原田史也記)



社保講習会

苫小牧

TOMAKOMAI

平成24年度社会保険講習会

日時：平成24年9月14日(金曜日)

午後7時より

場所：グランドホテルニュー王子

白樺の間

講師に北海道歯科医師会常務理事、社会保険(基金)、医療政策情報管理担当の龍方省二先生をお迎えして標記講習会が行われた。会員64名が参加した。

柏村専務理事の司会のもと、若菜会長の挨拶の後、龍方先生より保険請求の留意事項、注意点、指導・監査について、カルテ記載についてご説明いただいた。最後に阿部副会長よりお礼が述べられた。

(伊尾明子記)

野球部納会

日時：平成24年9月14日金

午後7時30分より

場所：海へ

マネージャーの和泉先生の司会のもと若菜会長の「今年は残念な結果に終わりましたが、来年は帯広で大会があります。怪我をしないよう優勝を目指して、楽しくやりましょう。」と挨拶され、阿部副会長の乾杯で宴が始まった。宴た

けなわのなか、Aチームの監督、高松(譲)先生は「来年はBゾーンに降格になりそうです。練習も通して全員が怪我なく、Bゾーン優勝を目指しましょう。」、Bチーム監督木村先生は「Bチームはとにかく楽しくやりましょう。」と挨拶され、引き続き石澤総監督が来年に向けての秘策を述べ、最後に豊巻先生の乾杯で宴となった。

(伊尾明子記)



札幌

SAPPORO

高齢者の歯のコンクール

審査会・表彰式開催される

日時：平成24年9月1日(土)午後2時

場所：札歯会館

「高齢者の歯のコンクール審査会・表彰式」が開催され、「さっぽろ歯っぴいらんど2012」の8020表彰参加者より選ばれました6名の方にお集まりいただきました。当日は健診と審査の後、全員に札幌市並びに本会より表彰状と記念品が手渡されました。

この日の結果をもとに11月に道歯会で

開催される「高齢者の歯のコンクール全道大会」に出場する札幌市代表2名が選出されます。

(井谷秀朗記)



北見

KITAMI

道東三歯会レクリエーション大会

日時：9月1日(土)

道東三歯会懇親会 午後6時30分

9月2日(日)

ゴルフ 午前8時17分

野 球 午前8時15分

場所：懇親会：ホテル黒部

ゴルフ：ノーザンアークゴルフ

リゾートクラブ

野 球：端野野球場

デンタルタウンミーティング・道東三歯会役員連絡協議会終了後、懇親会が開催された。懇親会は71名の先生が参加しました。次の日はこの時期道東地区とは高気温となり前日のアルコール代謝が十分でなされていないにもかかわらず、ゴルフ大会(23名参加)、野球大会(39名参加)が開催され、好プレー、珍プレーに盛り上がりました。結果は以下のとおり。

ゴルフ：優勝 中台洋之先生

準優勝 梅安秀樹先生

1位 比谷 勝先生

BG 高橋倫夫先生

BB 宮澤悦也先生

BM 小林 靖先生

野球大会：第一試合 北見対釧路 11対1

第二試合 十勝対北見 4対13

第三試合 十勝対釧路 4対10

優 勝：北見 準優勝：釧路 3位：十勝

(高木常臣記)



第25回北海道警察歯科協力医研修会

日時：平成24年9月29日(土)

午後3時～午後6時

場所：北歯会館

北見歯科医師会から40以上の会員が研修会に参加した。講演は東京歯科大法歯学講准教授花岡洋一先生に「歯科の個人識別の落とし穴と新技術 東日本大震災における活動報告とともに」と題しまして講演いただきました。昭和60年の日航墜落事故、そして東日本大震災をとりあげ、貴重な体験を報告していただきました。法的側面を含めた問題点、新技術、警察歯科医の役割とその位置づけについてお話しいただきました。さらに道警北見方面本部捜査課検視官 鎌田和彦様より「屋外死体等の腐食動物による影響」、北歯会からは小野真資先生より「北見管内における検視歯牙鑑定の現状」について報告がありました。道警歯科協力医会専務理事 河野崇志先生より検死業務の心得と各種事案への対応手順についてお話しがありました。

歯科界における法歯学の有用性について改めて考えなおす良い機会でありました。



釧路

KUSHIRO

9月三木会

日時：平成24年9月20日(木)午後7時より

場所：釧歯会館 2階 大講堂

講師：釧路職業安定所 職業相談第2部門 今村智行氏

演題：『歯科医院経営に有用な各種助成金について』 まずははじめに、釧路地区の現在の求人状況について、詳しく説明していただきました。前年度に比べると、若干上向いては来ているものの、まだまだ求人数が足りないとの事でした。

助成金に関しては、歯科医院が利用できる可能性の高いものについて、利用の条件から実際の手続きまで、分かりやすく解説していただきました。

日頃、なかなか時間を取って聞くことができない分野なので、とても参考になりました。

(金子峰夫記)

釧路歯科医師会主催

学術講演会「近代歯科医療におけるインプラント治療の変化と安全性について」

医療法人 京和会 KU歯科クリニック



理事長 梅田和徳先生

日時：平成24年9月29日

場所：釧路歯科医師会館

インプラントのネガティブニュースが巷を騒がせている昨今、最近のインプラント治療

の傾向とトラブルリカバリーについて、タイムリーな講演内容でした。中高年多数歯欠損から、若年者少数歯欠損へのインプラントケースの変化に即応した講演内容で、聴講した釧歯会会員のインプラントに対する最近の潮流を示していました。明日からの診療に非常に有益な講演会でした。



梅田和徳先生

(岡田泰宏記)

十勝

TOKACHI

高齢者の歯のコンクール

日時：平成24年9月8日(土)午後1時半～
場所：帯広市福祉センター

今年で23回目を迎える本コンクール、先だって8月24日に一般公募者の審査会を終え、医院推薦を合わせて計77名の応募者。最優秀賞には90歳の吉田豊治さんをはじめとする4名が選ばれた。挨拶の中で、小林十勝会長から「歯の本数が減少するほど日常生活自立度が低下し要介護度も高まる傾向がある。」と説明を受け来場者は真剣に耳を傾けた。

(村松晋記)



地域医療部講演会

日時：平成24年9月8日(土)午後3時～
場所：十勝会館講堂
演題：「高齢化社会の歯科医療の新たな役割とは」

演者：日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック院長 菊谷 武先生

日本人のおもな死因について触れ、脳卒中の後遺症として摂食嚥下障害を起こし、誤嚥性肺炎などで死亡する例が増加と説明。さらに窒息はのどで起こるが、その要因の8割は口腔にありもっと口に関与することができれば、こうした窒息や肺炎は防げるという。年をとれば手足の動きが悪くなるように、加齢とともに舌や唇もやせ衰えていく。ただし、筋肉は鍛えることができ、舌の筋力を鍛えるなど口腔に働きかけることで、寝たきりの防止につながる。

(徳永 稔記)



TDPC（十勝歯科医師会写真同好会）家族野遊会

日時：平成24年9月17日(月)
場所：帯広市八千代牧場

八千代牧場カウベルハウス前庭で行われたこの会、生憎の曇り空ではあったが、後藤洋祐会長以下、会員・家族14名と犬1匹の参加。船津先生推薦ポイントでの写真撮影、山口貴史先生の技が光った凧揚げ、そして子どもたちの進行によるゲームやビンゴと和やかに行われた。この会場3回目とあって、

スタッフの方も非常にフレンドリーに対応していただき、和気あいあいと楽しい休日だった。

(増地裕幸記)



会館センター部講演会

日時：平成24年9月29日(土)

午後2時30分～

場所：十勝会館 講堂

演題：「高齢者診療におけるかかりつけ歯科医の在り方と手技」

～診療所を核にした訪問診療とリハビリテーション

演者：日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 教授 植田 耕一郎先生

昨年に引き続きの講演。高齢者への接し方や訪問診療を始める前の考え方を説明。また、脳卒中でリハビリを行ない、身体の障害はある程度回復して健康でも、口の中は寝たきりのままだと述べられ、歯科医の役割を再認識。講演の中では実際に車イス



植田耕一郎先生

食べる・たいせつ

フェスティバル 2012 in 帯広

日時：平成24年10月6日(土)午前10時～
場所：音更町アグリアーナ

今年で2回目を迎えるコープさっぽろ主催のイベント。収穫の秋にふさわしく十勝の農産物や海産物が並び、あわせて食べるとこの大切さを歯科医からも知らせる企画。6名の8020推進員も一緒に協力して噛む力チェックガムを300部用意したがお昼までには無くなる盛況ぶり。

(國安克尚記)



室蘭

MURORAN

口腔がん検診協力医のための事前研修会

日時：平成24年9月29日(土)午後3時～
10月2日(火)午後7時30分～

場所：室歯会館

斎藤記念講堂



永易裕樹教授



榎原典幸先生

場所：室歯会館

例年実施している8020推進週間に合わせて行われる「いい歯の日」のイベントに関する打ち合わせが、本会からは三浦公衆衛生部長を中心公衆衛生部員、保健所から伊谷主任、野崎専門医、北海道衛生士会室蘭支の衛生士らが出席し開催された。

6月に行われた歯の衛生週間のイベントで室蘭、登別の8020対象者の表彰は終えているが、今回は胆振西部(伊達市、壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町)の8020授賞式を伊達で行うことになっており、各市町村との打ち合わせや会場の手配や事業の準備について話し合われた。

(塚田正興記)

室蘭三師会

日時：平成24年9月25日

場所：かわら家

毎年定期的に開催している室蘭歯科医師会と室蘭医師会・北海道薬剤師会室蘭支部との懇談並びに情報交換会が開催された。室歯会からは三役と地域医療部長の5名、医師会5名、薬剤師会6名が出席した。毎回三師会に共通するテーマを掲げ、今年は医師会が主催となり在宅医療における連携について、医師会の草場監事より現在の室蘭・登別地域における在宅医療を取り巻く情勢、在宅患者の現状、多職種連携などについて報告され、歯科医師会からは岩川地域医療部長が、昨年制作した西胆振地区訪問歯科診療マップを下に、歯科医師会としての訪問診療に対する現在の対応状況、歯科関連における口腔ケアの充実に向けた取り組みについて報告がされた。その後活発な質疑応答がされ今後の三師会においての訪問診療連携について議論がかわされた。

今後ますます深める必要がある医歯薬連携に役立つ三師会開催になった。

(新田 泉記)

いい歯の日の打ち合わせ

日時：平成24年9月26日(火)
午後7時30分～

函館

HAKODATE

民健康講座開催

日時：平成24年9月29日(土)

午後1時より

場所：函館国際ホテル 「天平の間」



佐々木明氏

「一流アスリートの健口管理とスキーの楽しさ」という演題で、地元北斗市出身のアルペンスキーオリンピック選手の佐々木 明氏に講演して頂いた。アスリートとして口腔管理の重要性をいろいろなエピソードを交えて楽しくお話をされた。集まった250名近い市民の方が熱心に聴講し、講演後は市民の方々から色々な質問が出され佐々木氏が一つ一つ答えられていた。

講演会終了後は、同じ会場で来場者を対象に希望される方に咬合圧測定を行い、普段自分がどれ位の咬合力で咬んでいるのか、皆さん興味を持たれていた。

(久保田瑞尚)

学術講演会

日時：平成24年10月6日(土)午後3時より

場所：函館会館2階 第一講堂

講師：昭和大学歯学部 歯科補綴学講座

馬場一美教授

演題：睡眠時ブラキシズム

-補綴新時代における合理的な対応-



馬場一美教授

馬場教授は、睡眠時ブラキシズムのメカニズム、とらえ方、診断、治療法について多くの研究結果や症例を提示し非常にわかりやすく解説した。

睡眠時ブラキシズムへの対応法は、薬物療法、認知行動療法、歯科的療法の3つに大別されるが、安全で効果的に睡眠時ブラ

キシズムを止める方法はない。したがって、睡眠時ブラキシズムの悪化要因となりうる因子を除去・減少することによって顎口腔系に作用する力を減じる方策をとりながら、口腔内に生じうる力を直接回避・軽減する対応法を取ることが妥当である。

スプリント療法の目的は、ブラキシズムを止めることではなく、ブラキシズムによって生じる力を制御(コントロール)することである。具体的には1)個々の歯を保護すること2)歯列上に生じる咬合力をコントロールすること3)顎関節に生じる力の分布をコントロールすることを目的として使用される。

最後に、中枢性に起こる睡眠時ブラキシズムに未梢より対応するのは困難であり完全に止めることはできない。したがってブラキシズムは起こりえるものとし、ブラキシズムにより起こる力をいかに合理的に配分するか、またその力から顎口腔系をいかに守るかが重要であると述べた。

会員からは日常臨床における対応法など多くの質問があり、馬場教授は丁寧に回答された。

(仲屋正樹記)

